

## 自己評価

学校教育目標	「ひとりだちのできる子」の育成（自立と社会参加の力を育てる） ・生活自立（基礎体力・身辺自立・基本的生活習慣・基礎学力） ・社会自立（対人関係能力としてのコミュニケーションの力・規範意識） ・職業自立（ビジネスマナー・職業に関する知識、技能等）	
評価する領域・分野	地域への情報発信	
現状及びアンケートの結果分析等	・「学校の教育方針や指導内容を地域へわかりやすく伝えている」94%以上の高い評価を得ている。しかし、地域への情報発信をさらに推進していく必要がある。	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・高等部の作業製品の販売会を校内から校外で行う機会を増やす。 ・児童生徒の作品展や写真展の開催を増やし、その充実を図る。	
重点目標を達成するための校内組織体制	・作業製品の朝市での販売やふるさと納税返礼品への参加。 ・学習支援部を中心に職員全体で作品展（写真展）会場の開拓。	
目標の達成に必要な具体的取組	・地域の公共施設や企業（道の駅等）と一層の連携を図る。 ・地域配信に向けての教員と生徒の製品や作品に対する意識の向上。	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・来場者アンケート等。 ・地域等からの学校に対する意見等。	
取組状況・実践内容等	・校内販売会 年2回 ・地域イベントや朝市、道の駅等での販売。 ・高山市役所や銀行、地域のデパート等での作品展の開催。	
評価の視点	評価	
①販売会の場所の開拓はできたか。	Ⓐ B C D	
②児童生徒の作品、製品の向上につながったか。	A Ⓑ C D	
③地域に学校教育活動を知ってもらえたか。	A Ⓑ C D	
成果・課題	総合評価	
○校外での販売会や作品展での来校者の感想を聞いたり、書いていただいたりした内容を見ると地域へ発信と共に良い評価をいただいている。 ▲校内と校外での販売会を比較すると校外ではまだ生徒が接待時に大きな声が出せない場合がある。	A Ⓑ C D	
来年度に向けての改善方策案	・さらに地域での販売会に積極的に参加する。 ・写真展が高評価だったため増やす。	

## 学校関係者評価（平成29年12月30日実施）

意見・要望・評価等
・「いらっしやいませ」という声を出すことは大人の私たちでもとても勇気のいることで生徒たちはよくやっている。
・夏休みなどを利用して道の駅などで販売してみてもどうか。良い刺激になるのではないかと。